

第1回 かぜくも教室を開催しました。

第1回目は「先輩お母さんの話を聞こう」ということで、本校中学部3年生の保護者さんに講師としてお話しして頂きました。未就学のお子さんの保護者さん4名が参加されました。

お子さんが診断されたころ、就学前に療育機関に毎日親子で通った話、悩んだことや嬉しかったことなど、分かりやすく丁寧に話して頂きました。

参加者のお母さんたちから「白いご飯を食べない。」「同じものばかり食べたがる。」「言葉が出ない。」「トイレはどうしよう…」などの悩みが出ると、「分かる、分かる。焦っちゃいますよね。でも、いつかはきっとできるようになります！」と励ましの言葉を送って頂きました。

次回は9月7日（水）に「サポートブックを書こう」というテーマです。講師は本校の教員が務めます。参加希望される方はご連絡ください。（☎0246-34-3806）

地域支援センター かぜくも



第2回 かぜくも教室を開催しました！

第2回目のかぜくも教室は「サポートブックを書こう」というテーマで、未就学のお子さんの保護者さん9名に参加していただき、本校の鈴木聡子教諭が講師としてお話をさせていただきました。

参加した保護者の方からは、「どのように記入して良いのか分からなかったが、具体的に記入できるようになりました。」「改めてサポートブックの大切さがわかり、書く意欲がでてきました。」などのご意見をいただきました。

次回は10月27日（木）に「子どものことばと発音について」というテーマで開催します。コミュニケーションとしてのことばについて学びますので、参加を希望される方はご連絡ください。

(☎ 0246-34-3806)

地域支援センター かぜくも



第3回 かぜくも教室を開催しました。

第3回目のかぜくも教室は「気持ちの育ち、ことばの育ち」というテーマで、本校小学部主事古川英樹教諭が講師としてお話をしました。未就学のお子さんの保護者さん9名が参加してくださいました。

古川教諭より「**安心・共感・認められる**」という関係を作ることがことばの育ちには大切であるという話がありました。(間違っても理解してくれる、気持ちを分かってくれる、「よくできたね。」と言ってもらえる など)

参加された方から、「子どもの見たもの、言ったことばに共感して会話を広げるというのは家でやってみたい。」「日常生活でほめることはたくさんあるということを忘れないようにしたい。」「ことばの育ち」だけでなく、子どもを育てていく上で大切なことを学ばせていただきました。」などの感想をいただきました。

次回は12月16日(金)に「ペアレントトレーニング」というテーマで開催します。参加を希望される方はご連絡ください。

(☎ 0246-34-3806)

地域支援センター かぜくも



第4回 かぜくも教室を開催しました。

第4回目のかぜくも教室は「いいところを見つけよう」というテーマで、本校小学部上遠野真理教諭が講師としてお話をしました。未就学のお子さんの保護者さん10名が参加してくださいました。

上遠野教諭より、お子さんのいいところに目を向けてほめていきましょう、という話がありました。具体的には、「朝、起きられたね!」、「靴下がはけたね!」など当たり前のことでもほめてみよう、とのことでした。

また、お子さんの行動をリフレーミングして見方を変える話もありました。例えば、「がんこ」→「意志が強い」、「落ち着きがない」→「活発である」…などです。お子さんの行動をポジティブにとらえ直すことで、ゆったりした気持ちでかかわれるようになるといいですね。

今回は、今年度最後のかぜくも教室でした。今回や違う回に参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

👤来年度の予定につきましては、計画ができましたら、ホームページ等でお知らせいたします👤

地域支援センター かぜくも



ワークシート2

リフレーミングしてみよう!!

ネガティブ	ポジティブ
1 わがまま	
2 切り替えができない	
3 言うことを聞かない	
4 だらしない	
5 落ち着きがない	
6 がんこ	
7 気が散りやすい	
8 あわてんぼう	
9 しつこい	
10 引っ込み思案	